



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：経済企画省の役割

(9月21日付「リヤド」紙)

9月21日、リヤド紙が掲載した「経済企画省の役割とは何か？」と題する論調記事(要旨)。

1. 静かな、もしくは変化のない、もしくは休憩している政府機関は経済企画省である。これまでアラブ諸国は、経済等に関して様々なスローガンが掲げられ、5カ年、10カ年等の多数の計画が発表されたものの、結局は貧困や政府の失策が露呈し、軍や政府に肯定的なメディアへの支援が行われたただけであった。我々は、経済都市、鉄道、住宅、道路、農業等の各種メガプロジェクト、即ち、人材と環境に対する包括的国家戦略において、何故経済企画省の姿が見えないのか分からない。
2. 経済企画省の役割は調査のみではない。同省は政策の実施のフォローアップに責任を持っていないが、背景には各省庁間の権限の重複があり、それより同省が政策のフォローアップ、議論、より上位の政府組織への報告の権限を持っていないことに繋がっている。さもなければ、各省庁間の平準化された権限のため、同省は他の機関に影響を与えることが困難であり、国益の追求以前に外部との関係のみ気にするようになっている。それゆえ、経済企画省の権限は台無しになり、各機関はそれぞれの管轄に固執し、有機的に上位の中核的な機関と連携をしていない。
3. 経済企画省を批判する前に、同省の権限を理解し、同省が正確且つ十分なビジョンに基づいた調査統計を提出する権限があるかどうかを理解する必要がある。加えて、同省の専門家(外国人を含む)は、開発全体及び現状、物質的・人的ポテンシャルのアベイラビリティを理解する能力に精通している必要がある。将来が肯定的であるか否かにかかわらず、他国と比較しつつ、可能性と期待を分析し、将来を読み解くことが重要である。
4. 我々は唯一のリソースを持つ途上国であり、その収入を経済的・社会的な機動力に向けようとしている。システムティックな計画なしでは、統合的なプロジェクトを進めることは不可能である。「経済企画省」が公的機関の一部であるならば、何故同省はより上位の機関と直接繋がっていないのか？何故単なる他の多くの省庁と同じ列にいるのか？どこの国にも戦略的なプランを策定する組織があるものだ。